

「地理空間情報マッシュアップコンテスト」

地図を介したコミュニティサイト 地盤情報編

— 三次元表示 地面から下を覗きたい！ —

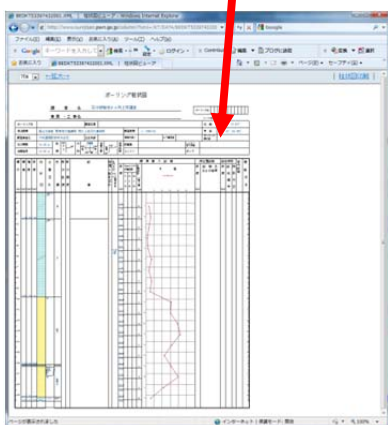
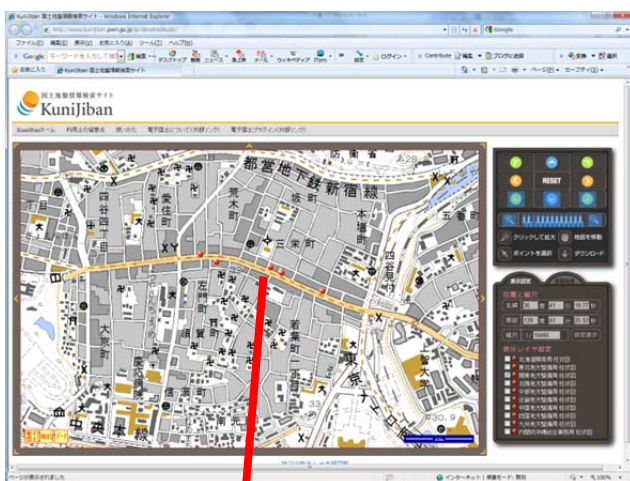
(社) 全国地質調査業協会連合会
情報化委員会¹

テーマは 通常は見えない地盤情報を如何に見えるようにするか。

地盤情報データ 数万本ありますが・・・

地盤情報データは 現在の公開形式では (専門家でない) よく判らないと思います。

KuniJiban サイトでは



地図にある点をクリックしたら

このような絵 で見る事が出来ます。

水色はやわらかい粘土 黄色は砂・・・少し判り易くなりました。硬さを示す N 値のグラフも見えます。

でも、これは地図から離れてしまって

どこの点のものだったのかわからなくなってしまうこともあります。二つ目のウィンドウを開いたらもうどっちだっけ・・・

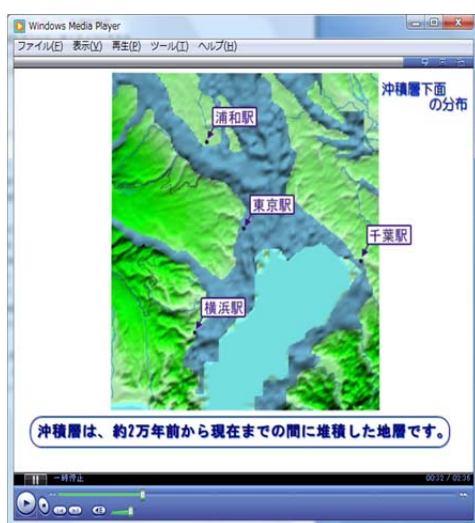
この地盤情報は、点から 下方に伸びた線 の情報です。 地表面より下方に伸びた線を

¹ ○若林真由美 (基礎地盤コンサルタンツ株式会社)、得丸昌則 (株式会社ダイヤコンサルタンツ)、井上誠 (有限会社 地球情報・技術研究所)

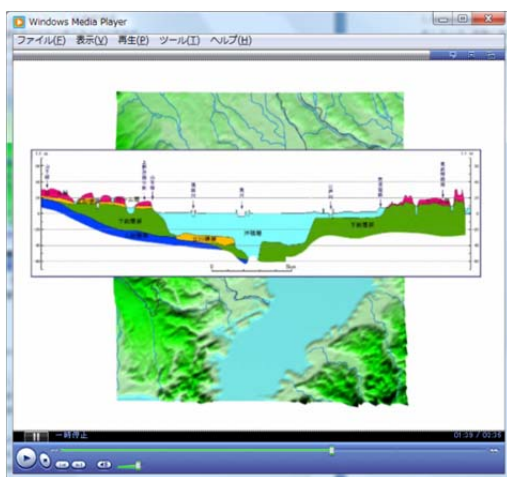
なんとか見えるようにする手立ては無いでしょうか？ 線が色分けできれば地盤の性状が少し判ります。線を触ったらそのプロパティがポップアップウィンドウに出てきたら、それだけで、地盤情報は画期的に見やすくなるはずですよ。地表面より下にも潜っていけるグーグルアースが欲しいと思います。(地表面を仮に100m上に持っていけば表示できますよ という研究を発表されている方もおられるのですが・・・苦肉の策です)

地盤情報では、よく等深線を用います。地盤情報データで同じ地層をつないで等深線を作ります。地層境界面を等深線で表す

もう少しどんな意味があるのか判り易く見せたいと思います。



これは、国土交通省・国土調査課のサイトにある**首都圏の地層境界面の分布 CGアニメーション**の一部です。



このようなイメージも出てきます。アニメーションの中では 三次元モデルをクルクル回して見せてもくれるのですが、このイメージでは 範囲が広すぎて、自分の家のあたりはどうなっている？ 今居るところはどこ？ という状態です。グーグルアースのように自由に拡大して見たい と思います。

断面図も少し透明になってもらって、どこの断面なのか地図から離れずに見られると良いですね。

さて、地面の下が どうなっているのか が見えると、どんな良いことがあるのでしょうか？

・・・おうちが傾いてる・・・地震がきたらどんな風に揺れる？・・・この地盤はどうやってできてきたの？・・・地球システムってすご〜い・・・地球の遺産はジオパークで残して観光資源にしちゃいましょう・・・ 観光資源には情報が必要ですね 地理空間情報としてデータをもっと増やしましょう・・・専門サイトではなくて 誰もが集まるコミュニティサイトに 地盤の情報も解り易く入れていきたい と思います。